

Architectural Planning

2 units (selection)

Part-time Lecturer

Target 建築物の設計を行うためには、そこで展開される人々の生活がうまく機能するような空間を計画することが必要である。本講義では、建築計画で用いる基礎的手法に加えて、各用途の建築物に関する計画論の概要を学ぶことで、建築設計に役立てるものである。

Outline 本講義では、住宅、業務施設、公共施設を事例に、その計画論と建築設計への応用について先進事例を交えながら説明する。

Keyword *architectural planning*, 建築設計, 施設計画

Fundamental Lecture “**Introduction of Architecture**”(1.0)

Relational Lecture “**Design and Drawing for Architecture**”(0.5)

Goal 住宅、業務施設、公共施設について、その計画手法の概要を理解する

Schedule

1. ガイダンス
2. 建築計画の基礎 1
3. 建築計画の基礎 2
4. 住宅の計画 1
5. 住宅の計画 2
6. 住宅の計画 3
7. 住宅の計画 4
8. 業務施設の計画 1
9. 業務施設の計画 2
10. 業務施設の計画 3
11. 公共施設の計画 1
12. 公共施設の計画 2
13. 公共施設の計画 3
14. 建築物の再生計画 1
15. 建築物の再生計画 2
16. 試験

Evaluation Criteria 出欠状況と試験の成績で評価し、60 点以上を合格とする。

Relation to Goal 本科目は本学科の教育目標の 3(3) に、100% 対応する。

Textbook 初めての建築計画: 「建築のテキスト」編集委員会 (著), 学芸出版社, 2000 年

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216501>

Note 授業を受ける際には、2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。